



2005 ITU International Triathlon Event Shichigahama

2005 ITU インターナショナルイベント七ヶ浜大会

2005 NTT Triathlon Japan Cup 4th Stage

NTTトライアスロンジャパンカップ第4戦

10 July 2005



上田藍、田山寛豪、復活の優勝

2005NTT トライアスロンジャパンカップ第4戦七ヶ浜大会は、ITU インターナショナルイベント・ASTC アジアカップとして7月10日(日)、宮城県七ヶ浜町特設コースで行われた。

午前11時20分にスタートした男子は、田山寛豪(チームテイケイ)が後続に46秒もの差をつけてスイムを終え、バイクでも単独で逃げ始めた。バイク3周目には、第2集団を形成した杉本宏樹(チームテイケイ練習生)、高濱邦晃(日本食研)、西内洋行(福島県協会)、重田裕也(神奈川県連合)、岩田聡(千葉県連合)、長谷川裕一(東京都連合)の6名が追いついて、7名の第1集団となった。ランではこの7名が一斉にスタートを切り、序盤からトップに立った田山がリードを守って優勝した。2位は杉本、3位は高濱だった。田山は、「石垣島大会以降、今年2度目のレース。この2カ月間は精神面を鍛えた」と、久しぶりの快走に満足げだった。

午前11時20分スタートの女子は、古谷あかね(トヨタ車体)スイムをリード。41秒遅れて輪島裕美(早稲田大学)、中島千恵(東京都連合)が水から上がり、すぐ後ろに田中敬子(チームゴーヤー)、高木美里(湘南ベルマーレ)、長谷川麻弥(東北大学)続いた。この6名が、バイクに入っても第1集団をつくり、先頭交代を行いながらスピードを上げた。第2集団には、3連覇を狙う大松沙央里(トヨタ車体)と先週のアジア選手権アンダー23の部で優勝した上田藍(グリーンタワー・稲毛ITC)を含んだ5名が入った。第1集団と第2集団は約1分30秒の差でランに移ったが、飛び出した高木を田中がかわすと、リードを拡げはじめた。ラン1周回目で、第2集団から追いついた大松と上田が上位に肉薄すると、ラン2周回目で上田が前をゆく大松と田中を抜いてトップに立ち、そのまま逃げ切って優勝した。2位は大松、3位には田中が入った。上田は、「やっと本来の調子で走れた。この夏は、ワールドカップポイントを取って、9月の世界選手権蒲郡大会にはエリートで出たい」と語った。

上田、田山両選手は今年初めに脚を故障したが、見事に克服して優勝を飾った。

同時開催のジュニア選手によるスプリント競技は、女子は蔵本葵(東京ヴェルディ)、男子は比嘉和真(チームゴーヤー)が優勝した。

なお、レースの様子はフォトギャラリーをご覧ください。

